

# 今、もし大学1年生の 自分に会えるなら、 私に伝えたい5つのこと



潜道 文子

私自身が大学1年生だった頃、「どんな風に学ぶか」などということには特に考えていませんでした。しかし、今、思うと、あの時知っていたらと思うことも多いです。というわけで、自分の大学生活への反省も込めて、大学1年生の私に伝えたい5つのごことを皆さんにお伝えします。

## 1 一度は本気でがんばってみる

大学では、授業や専攻、所属ゼミ等、多くのことを選択するわけですが、選択の仕方によって、得られるものに違いが出てくることもありえます。だからといって、すべてに全力投球するというのは現実的ではありません。なぜなら、大学生の生活は、授業だけでなく就職活動やインターンシップ、卒業論文執筆や資格試験の勉強等、かなり忙しいものだからです。したがって、勉強は「選択と集中」の視点が必要です。「好きなことや興味のあることだけはがんばる」これでも非常に大きなものが得られます。興味のあることの見つけ方は、矛盾しているようですが、まずは、いろいろなものに対して本気で努力してみることです。

## 2 人生のターニングポイントとなる授業

興味のあることを見つける過程で、「人生のターニングポイントとなる授業」に出会うこともあるでしょう。たとえば、その授業がきっかけとなって、更なる勉

強のために大学院へ進む、夢をかなえるために起業家になる、社会問題解決のためにNPOで活動するようになる……。このような授業に出会えたら、自分の進むべき道がすくっと目の前に広がってくるかもしれません。

## 3 自分で決める

些細なこと（今学期の授業は？）から大きなこと（就職？ 進学？）まで、自分の人生は、自分で決めなければなりません。意思決定をするというのは、なかなか大変なことです。なぜなら、知識や経験、情報収集能力等が必要だからです。しかし、それはとても「楽しい」ことでもあります。意思決定能力を持ち、結果に責任をもてるということは「自信」につながり、満足できる結果ができれば「有能感」も感じられます。ですから、最初は大変でも、意思決定能力を養う努力をしましょう。

## 4 フットワークのよさと人的ネットワーク

知識を得るのは、授業や本からだけではありません。他の人の話に耳を傾けることによって得られる知識も多いはずですよ。そのためには、積極的に多くの人々と接触するフットワークのよさも必要です。人的ネットワークは、人々の人生を歩みやすくします。しかし、ルールがあります。「ギブ・アンド・テイク」です。テイクだけでなく、他人のために積極的に何かを行



AYAKO SENDO

経済学部教授  
「経営学総論ⅠⅡ」、「企業論」、「コーポレート・ガバナンス」、「基礎ゼミ」、「演習ⅠⅡ」担当。  
専門は、「企業と社会」、「経営戦略論」。  
好きなもの：おいしい料理、温泉、映画館でみる映画  
好きな街：銀座、乃木坂、函館・大沼、直島  
趣味：現代アート、カウチポテト

## 5 個性を大切に

若いときは、自分の前を歩む人々から学ぶことも多く、ロールモデルになる素敵な人を見つかることもあるでしょう。しかし、他人の良さを模倣しようとするあまり、自分の個性や能力を失ってしまっただけの問題です。実は、人は自分の個性や能力に気づかないことも多いのです。しかし、たとえば、仕事をやる際にも、能力や個性の差別化が重要です。そして、何よりも、自分の個性を伸ばして、のびのびと楽しく生活することが大切です。この4年間は、自分の良さや個性が何かを確認するために自分自身をじっくり見つめるよい期間だといえます。

